



東国分爽風学園の小中一貫教育の取り組み ～子どもたちが主役の取り組みの推進～

令和3年4月からスタートした、東国分中ブロックの小中一貫型小学校・中学校※、「東国分爽風学園」（東国分中学校、曾谷小学校、稲越小学校）。

これまでに、新たな教科「ふるさと探究科」や中学校教員による小学校への乗り入れ授業、3校合同の「いじめをなくすブルーリボン運動」などの小中一貫教育の取り組みを進めています。

今回は、令和5年度に実施した取り組みの中から、東国分爽風学園の3校で行ったオンラインによる「あいさつ運動」についてご紹介します。

この取り組みは、東国分中学校の生徒会と曾谷小学校・稲越小学校の代表委員会が3校合同で取り組みを検討する「東国分爽風学園 中学校生徒会・小学校代表委員会 連携プロジェクト会議」で出された子どもたちのアイデアを実現したものです。

「あいさつ運動」では、朝の登校時刻にオンラインでモニターに繋ぎ、画面越しではありますが、お互いに朝のあいさつをしました。

3日間行われた「あいさつ運動」では、登校する児童生徒が、元気よく手を振ってあいさつをする姿が見られました。東国分爽風学園のつながりを深める良い機会となったようです。



＜曾谷小学校の様子＞



＜東国分中学校の様子＞



＜稲越小学校の様子＞

東国分爽風学園では、今後も、児童生徒が主体となる取り組みを進め、小中一貫教育を推進していきます。

※「小中一貫型小学校・中学校」とは、正式な学校名や校舎などは、今までと変わることなく、義務教育学校に準じた形で義務教育9年間を一貫して教育ができる学校です。